

ちかげの短期留学体験

Vol.1 セブ島の学校へ

REPUBLIC OF THE PHILIPPINES フィリピン共和国

ルソン島・ビサヤ諸島・ミンダナオ島などを中心に、大小合わせて7107の島々から構成される多島海国家。気候は熱帯海洋性で、1年の大半は曇り湿度が高い。気温は21℃から32℃で、6月から11月は雨季。近年は安定して経済成長しており、80年代から90年代前半と比べると大きく景気が回復している。

CEBU セブ島

フィリピン中部のビサヤ諸島に位置し、面積は4422平方キロメートル、人口300万人の島。セブ市はスペインにより植民地化された都市で、その名残が随所にある。昔ながらの市場カルボンマーケットのほか、観光客向けのショッピングモールやリゾートホテルが多数ある。近年、マンツーマン授業を中心に裕安で英語の勉強ができる留学先として注目を集めている。

Facebookページで日々更新中！「青山千景」で検索してね



English Fella Language School 2

- 青山千景 Chikage Aoyama
- 14才でCMデビューし、18才からSTVラジオパーソナリティを経験。
 - 2007年度ミスさっぽろを経て、2014年から札幌観光応援コンシェルジュとして観光大使に任命される。留学前は、TVh「旅コミ北海道」、FMノースウェーブ「ノースグラフィックオートインフォメーション」、スポーツニッポン新聞「青山千景がリーダー直撃 21世紀のフロンティア」で活躍、北海道フードマイスター、食育インストラクターとして講師を務める傍ら、青山千香(姉)とビジネスマナーやコミュニケーションマナー研修の講師としても活動中。



セブ島最大の敷地面積を誇る英語学校。広大で開放的なキャンパスには、プール、バスケットボールコート、ジムなどがあり、リラックスした雰囲気の中で勉強に集中することができる。初心者向けのコースから上級者向けのTOEFL、TOEIC、IELTS専門コース、親子留学コースなどもあるので、自分の目標とレベルに合わせたコースを受講することが可能だ。

学校について



私はEnglish Fella Language School 2へ入学。完全寮制で敷地が広く、セブの中でも日本人が少ないのが特徴、そしてスパルタなのです！1週間の短期から半年以上滞在する生徒までいます。また、日本人のマネージャー(札幌出身)がいるので安心です。学校の敷地内にはジム、バレーボールコート、プール、カフェなどがあるととても充実。寮は1人部屋～3人部屋まであり、値段も安く、空港まで迎えに来てくれるし、至れり尽くせりな学校です！本当にここに決めて良かったと思いました。



初日にレベルテストを受けましたが、大学までの英語の記憶はどこに... (笑)。私の1日は毎朝6時半に起きて7時半に朝食、8時から授業が始まり、3～4時限はマンツーマンのレッスン、グループレッスンが3時限、義務実習に每晚単語のテストと宿題。夜22時まで授業に出席しないとペナルティまであります。文法、スピーキング、リーディングなど教わることがいっぱい。真剣に勉強しなくてはついていけません、フィリピンの先生はみな英語をしっかりと勉強してきた人ばかりなので、発音も教え方もすごく上手です。とても親切で、ビギナーの私にもゆつくりと丁寧に教えてくれます。3か月でレベル1からレベル6まで上がった人もいます。授業の後は先生と女子トークで楽しんでますよ。



なぜ留学？

20代から留学やワーキングホリデーに憧れを持っていましたが、その機会はありませんでした。いえ、仕事があるし辞められないし、今までずっと自分自身に言い訳していたのです。しかし30歳を迎えるにあたって、自分で機会を作らなくてはと一大決心！昨年10月末に行くことを決めて3日後に資料請求、そして2月7日から留学開始。3か月間の短い期間ですが、まず1か月目はマンツーマンレッスンできるフィリピンのセブ島へ。そして2か月目からはニューヨークに行くことにしました。

なじめない！



生徒は10代から50代まで、大学生、会社員、仕事を辞めてきた人や商売を休業中の人などさまざまな人たちがいます。セブにきて1週間目、悩みができました。私より前に入学している人たちはスピーキングがとても上手。しかし私は皆の会話を聞いているしかなく、自分にうんざり...。疎外感を感じて泣きそうになりましたが、先輩たちに聞くと皆同じ経験をしているようです。また日本人はシャイなので、なかなか他の国の友人ができません。しかし、ここは海外！私は外国人です。勇気を振り絞って「What is your name?」と話しかけると、いつの間にかランチタイムは楽しい時間に。異国の友人がいるなんて素敵だと思いませんか？

学校のアクティビティ



この学校は、アクティビティがとても豊富。1週目は市内観光。2週目はボランティアで孤児院へ。ツアーではスピーキングの先生が引率し、いろいろ説明してくれますので勉強にもなります。また、セブ島の歴史的建造物を見たり、小高い丘にある眺めの良いレストランでディナーをしたりと楽しい時間でした。



セブ島での生活

食事



寮の食事は1日3食。どれも美味しい！メニューは、お好み焼き、カレーライス、ピピンバ、フライドチキンなど。ダイエットできると思っていたのに美味しく食べて過ぎてしまいます。セブ島には大きなショッピングモールがいくつかありますが、オススメはアヤラモール。買い物だけでなく伝統的な料理が食べられるお店やスパなどが充実。フィリピン語でBokoジュースと呼ばれるココナッツジュースやマンゴーシェイク、シーフードから肉料理までどれも甘めのテイストで美味！

女子力



3か月の留学なので、美容室もネイルサロンも行けないだろうと思いきや、黒髪にし、ジェルネイルも取ったのに、日本人が運営する美容室やジェルネイルサロンがたくさんあるのです。これなら長期間でも安心！

トイレ



ここは東南アジア、後進国のフィリピン。学生寮のトイレはきれいですが、他の場所は日本に比べると汚いです。トイレットペーパーは流せないで便器の近くにあるゴミ箱に捨てます。最初は抵抗がありましたが慣れましたよ。トイレの文化は覚えておかななくては。

編集後記

飛び込めば楽しい世界が待ってます！



1か月はあっという間。せっかく若い男の先生と仲良くなったのに(笑)。いやいや、あと2か月あれば文法をもっと勉強できたのに少し後悔...。ここに来るまで不安だらけでしたが、だんだん英語が好きになってきました。英語が話せたら世界中の人と話せるのかと考えるだけでワクワク。思い切って留学して良かったな。さあ次回はニューヨークです。どんな2か月目を過ごすことになるでしょうね。